

令和6年度第3回 丹後地域医療構想調整会議 概要

- 1 丹後医療圏における医療提供及び医療需要に係るデータ分析から、脳神経外科や呼吸器外科は約7割が管外へ流出する一方、整形外科や消化器系の手術は管内で6～8割が受療している。
- 2 将来推計人口や医療従事者の年齢構成から、今後、丹後の医療需要は全ての疾患で現状よりも減少し、医師や看護師等も高齢化による減少が見込まれている。
- 3 地域医療構想における丹後構想区域対応方針が承認されるが、病院の経営状況が厳しい、病床数は地域医療の本質であり削減は一定の方針をもって考えていくべき、看護師やコメディカル不足はどの病院も共通で大きな課題である、などの意見が出された。